

特集 地域支援で輝く！ 企業内診断士

第1章

独自の手法で地域活性化に取り組む企業内診断士



「地域支援で輝く！ 企業内診断士」執筆チーム

自分が住む地域、幼少の頃を過ごした故郷など、縁のある地域への恩返しや街の活性化を目的に「地域支援」を行う中小企業診断士は多い。独立診断士であれば、公的機関のよろず支援拠点や専門家派遣へ登録する方法もあるが、時間の制約がある企業内診断士は、地域支援のきっかけがつかめない人も少なくない。

本特集では、地方と都市部、新人とベテラン、本業の業務を生かした支援や、本業・副業両方で地域支援のケースなど、多様な場所・手法で地域支援を行う4人を取り上げた。

地域支援活動をスタートした契機や、現在の活動、本業と副業両立の工夫や周囲の人との連携などについてお話を伺った。4人からの共通したアドバイスは、「地域支援への思いがあるならまずは街に、研究会に飛び込み、かかわりを持ってみる」だった。これから地域支援を始める企業内診断士への一助になればと考える。

第2章

東京と大分の2拠点で「三方良し」の働き方 古城 秀明さん

テレビ局の記者やディレクターを経て、5年前に東京へ異動した古城さん。地元・大分の事業者支援を行うため、周囲を巻き込み、自ら新しい働き方を提案した。東京と大分、2拠点で活動するメリットや学び、本業と副業で目指す未来像を伺った。

第3章

平日は福島、週末は愛知で現場志向の街づくりとITの融合 小林 慶介さん

故郷・愛知の商店街活性化からスタートした小林さんの熱意あふれる活動は実践的だ。大手システムインテグレーターの本業では中小企業や地域とのかかわりが少ない。どのように支援活動を始め成果を出してきたのか。本業とは別に地域支援を志す新米企業内診断士には、考え方・方法論が参考になるだろう。

第4章

「まちゼミ」の開催で豊中を大阪No.1の街に 秦 博雅さん

中小企業診断士に行政書士、お寺の副住職と多様な顔を持つ秦さん。40万人都市の豊中市において「meet-upとよなか」の代表を務めながら、豊中市内の事業者とつながる。どのような心持ちで地域支援をしているのか、また具体的な活動を伺った。

第5章

地域興しのスペシャリストとして全国でにぎわいの仕組みづくり 田村 和彦さん

本業では文化施設の展示内装設計や事業計画策定、現在はPFI事業の企画推進で地域活性化に貢献する田村さん。副業でも派遣専門家として活躍し、歴史ある銭湯の顧問、地域活性化伝道師などで活動中。地域活性化への思いと支援を志す人へのメッセージを伺った。